

沖縄・台湾授業視察 ～4年ぶりに海外視察に行ってきました～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

私は常々、自分が行っている体育授業が、どう子どもたちの未来に役に立つのだろうかと考えています。少なくとも、自分が子どもの頃に受けてきた体育授業を、「そのまますればいい」ぐらいの気持ちにはならないよう心がけています。そのため、同じニーズの時代に、各地でどのような体育授業が行われているかを観ることは大切と思っています。他の人の授業や他県、他国の体育の捉え方を知ることは、自分の授業作りにとっても役立っています。

今回、2月17日は沖縄の体育専科配置校の南城市立船越小学校に、3月5日から9日は、台湾の台中市、新竹市、台北市の小中高の体育授業を観に行きました。以下写真で報告します。

<南城市立大里北小学校>



船越小学校に行く前に立ち寄らせていただいた、同じ南城市の大里北小学校。学校施設の充実ぶりに、ただただ驚くばかりでした。

<南城市立船越小学校>





授業者は今年度体育専科になられたという城間盛覚先生。研究熱心な上、子どもの扱いがとても上手で、テンポがよく、澁みのない授業でした。また事後研にも岩崎は参加できたため、細かいことも質問することができました。たくさんのヒントをお土産として持ち帰ることができ、有意義な視察となりました。

<台中市：仁美國民小學・國立臺灣體育運動大學・東山高級中學>



仁美國民小學では三年生のバスケットボールの授業を参観



国立臺灣體育運動大學では交流会と施設見学



東山高級中學は体育科のある中学校 普通科中学生のバレーボールの授業を参観

<新竹市：光明國民小學・成功國民中學>



光明國民小學は三年生の体づくり運動（国語をコラボした運動）



成功國民中學は鬼遊びの授業 事後研は日台共同で気づいたことの意見交流

<新北市：昌平國民小學>



二年生の体操の授業 夏先生は日本の先生と体育を勉強されており、日本でよく見る授業でした。

<台北市：明倫高級中學>



高校生の体づくり運動の授業 今回の視察は、ここで初めて ICT を使った授業を見ることになりました。



台湾の体育館は、コンクリートの上にラバーを張ったものが多く、日本のように木製のフローリングはありませんでした。

またバスケットボールが人気のスポーツで、至る所にバスケットコートが設置されていました。



台湾の学校視察は、今回が2回目。特に今回は、2000年のシドニー五輪に新体操で出られたこともあるという国立臺灣體育運動大學の中田真美先生が中心になり、連絡・調整、訪問校のセッティング、交通手段の手配、通訳他、たくさんのお世話をさせていただきました。台湾はいつ来ても優しい方ばかりと出会いますが、今回の訪問では、学校視察を受け入れてくださった各学校と併せて、中田先生の「優しさ」と「おもてなしの心」がとても印象に残りました。このように、運動やスポーツで人間性を高めることができるのであれば、自分の体育授業でも、より態度の育成を重視していきたいと感じた次第です。

やっぱり対面による授業視察っていいですね。

次回海外視察に行くことがあれば、Google 翻訳等のアプリに頼らず、英語ぐらいは片言で話せるようになっておきたいです。